

「継体天皇と近江

そして弟国の宮はなかった？」

令和4年 1月 22日

後藤国彦

ran_ikki@yahoo.co.jp

はじめに

継体天皇

幻の都

まとめ



継体天皇とは

- ❖ 第26代の天皇，古代の中でも一番謎の多い大王，継体は諱，
- ❖ 「をほどのおおきみ」450年?~531年?
- ❖ 滋賀県高島郡三尾の別業（なりどころ）で生まれる，
- ❖ 15代応神天皇（八幡宮）の5世近江を治めていたとも，
- ❖ 大和に入れず淀川沿岸に遷都，今城塚古墳に葬られる



はじめに

継体天皇

幻の都

まとめ



万世一系

- ❖ 人種と場所が変わらなかつたのは世界で日本のみ, 「同一人種・同一文化・同一言語」,
- ❖ 遺跡から出てくるのはすべて日本人, 数千年前の風習が伝わっている, 古い資料も今使っている言語で理解できる

	西暦元				1000年		
イギリス	ケルト人		ローマ人		ゲルマン人		バイキング
フランス							
ソグド人						滅亡	
中国			隋	唐	元		明
			非漢民族	鮮卑族	モンゴル族		清
							満州族
朝鮮族							
ユダヤ人							
日本	同一場所・同一人種・同一文化・同一言語						

はじめに

継体天皇

幻の都

まとめ



纏向遺跡 1

❖唐古・鍵遺跡，各地域の土器・銅鐸の工房があった

「南に進むと邪馬台国に達す。女王が都とするところなり、水行十日・陸行一月。七万余戸ばかりか」

❖纏向遺跡，東西に向いた大型建物，箸墓，三角縁神獣鏡



はじめに

継体天皇

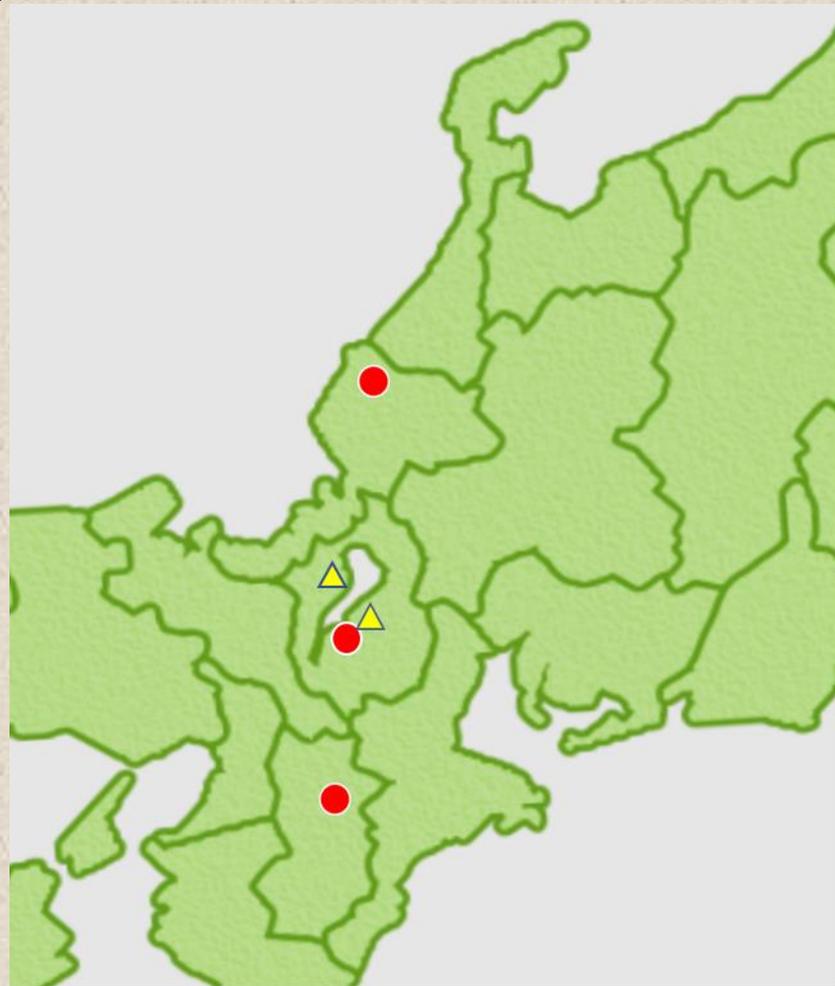
幻の都

まとめ



纏向遺跡 2

- ❖ 守山伊勢遺跡，220mの円周上に等間隔に30余りの建物群，
- ❖ 南下して纏向
- ❖ 大岩山で24個
日本最大の銅鐸



はじめに

継体天皇

幻の都

まとめ



継体天皇出自 1

- ❖ 父は彦主人（ひこうし）王，滋賀県高島郡三尾の別業（なりどころ）で生まれる，
- ❖ 彦主人王は15代応神天皇（八幡宮）の皇孫，継体は応神の5世，母は越前三国（＝三尾？，丸岡）にいた振媛，（能の「花筐」（はながたみ））
- ❖ 幼少で彦主人王亡くなる，継体を連れて本貫の地越前高向へ，もし57歳で天皇にならなかつたら地方の一豪族で終たはず



はじめに

継体天皇

幻の都

まとめ



継体天皇出自 2

❖ 継体は 成長するまでの詳細は不明であるが、越前や近江（古事記）を支配していた、当時琵琶湖は北（越前）から南（淀川）への重要な交通路



はじめに

継体天皇

幻の都

まとめ



踐祚の経緯

- ❖ 506年 大和で第25代武烈天皇崩御，武烈は名前の通り 悪行の限りを尽くす（淡海三船），
- ❖ 古事記には一切なく日本書紀にのみ記述，後継ぎがなく他に人を求めた（後継者はいた），
- ❖ 以上は創作で豪族の権力争いと国際化などで新しいリーダーを望まれていた？，継体を今の皇統の始祖と考える学説も，



1372年写本

はじめに

継体天皇

幻の都

まとめ



天皇を外に求める

❖ 当時皇統の直系以外は各地に下り豪族になっていた、

❖ 大連・大伴金村、物部麁鹿火 等有力豪族が協議し丹波亀岡にいた皇族の倭彦王（やまとひこ おう）のもとへ

大伴氏→「いざ子ども 早く大和へ 大伴の御津の浜松 待ち恋ひぬらむ」、万葉集大伴家持、「新しき年の始めの初春の 今日降る雪の いや重け吉事」、物部氏→のちに蘇我氏と争い滅亡

❖ 山に隠れ行方不明に、この話は古事記にはなく継体を正当化するためか？

はじめに

継体天皇

幻の都

まとめ



継体へ

- ❖越前にいた継体へ（越前は日本書紀，古事記は近江にいた継体。越前には継体の古跡や伝承が残る。近江は有数の鉄が取れた。越前は大陸との交流），
- ❖天皇になる依頼を継体は疑い拒否，知己であった河内馬飼首荒籠（かわちの うまかいのおびと あらこ）が密かに使者を送り3日間説得，
- ❖大和へ向けて出発するが何度も辞退，
- ❖507年58歳で，荒籠の本貫河内国樟葉宮で即位，

はじめに

継体天皇

幻の都

まとめ



樟葉宮

- ❖ 交野天神社内に樟葉宮跡，なぜか直接大和には入らない，
- ❖ 日本書紀には即位に関する多くの行事が記載されている（樟葉宮，筒城宮，弟国宮3つは古事記には記載ない）



はじめに

継体天皇

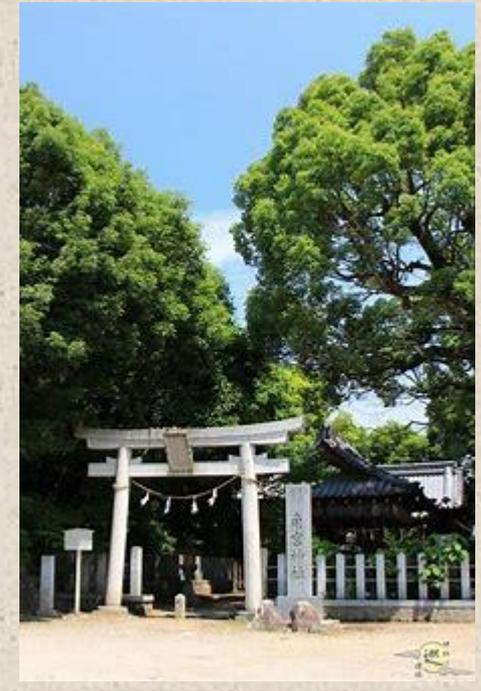
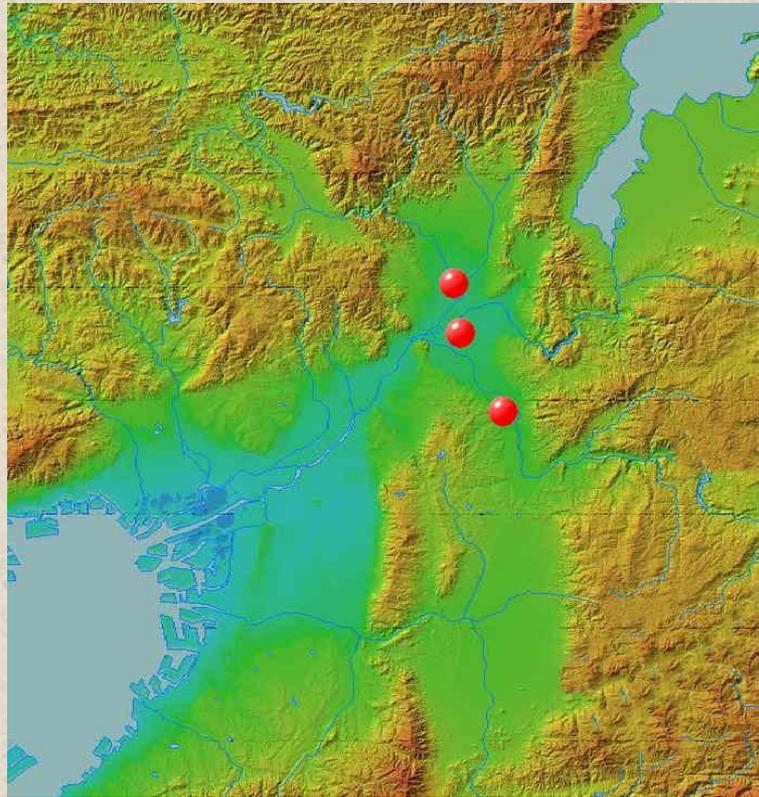
幻の都

まとめ



筒城宮，弟国宮 1

- ❖ 511年筒城宮遷都，京田辺・大住は古来帰化人が多かった，
- ❖ 518年弟国宮遷都河岸段丘にある角宮神社付近（古事記伝 本居宣長），淀川水系で遷都を繰り返す，水運を握るため？



はじめに

継体天皇

幻の都

まとめ



磐余玉穗宮

- ❖ 526年 77歳で大和に入り磐余玉穗宮に入る。稚櫻神社（わかざくら）磐余の池近く、
- ❖ 527年 新羅と組んだ 筑紫君磐井の乱起こる、
- ❖ 531年 82歳で崩御 太田茶臼山古墳 に祭る（実際は 今城塚古墳 。樟葉宮の6Km西）



はじめに

継体天皇

幻の都

まとめ



隅田八幡宮人物画像鏡

❖隅田（すだ）八幡宮伝来の銅鏡，以上は古事記・日本書紀・上宮記・百濟本記・各地の風土記・宋書夷蛮伝 による古文書（写本）による伝承であるがこれは当時のもの，

癸未の年八月 日十大王の年、男弟王が意柴沙加宮におられる時

癸未の年＝443年 503年 男弟王＝ヲウト，意柴沙加宮＝押坂



はじめに

継体天皇

幻の都

まとめ



まとめ

- ❖ 古代史最大の謎の継体天皇は、まだまだ謎が残っている
- ❖ 近江との関係の伝承は少ないが、今後発掘などで新発見があるかもしれない
- ❖ 従来言われていた淀川水系での遷都は、疑問が多い
- ❖ 纏向遺跡が邪馬台国であるとほぼ比定されたので、近江との関係も深まると思われる
- ❖ 古代史は謎が多いだけ面白いし、またいろんな説が出て楽しい